

「胆管炎を見逃さない！」 三浦修病院長に聞きました



胆管炎というのはどのような病気なのでしょうか？

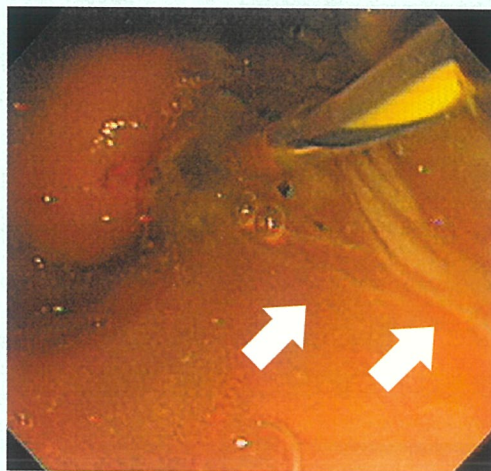
胆汁の流れる胆管が、胆石や腫瘍によって流れが悪くなり、そこに感染を起こすと、震えを伴う高熱が出ることがあります。これを胆管炎といいます。

胆管炎は怖い病気なのでしょうか？

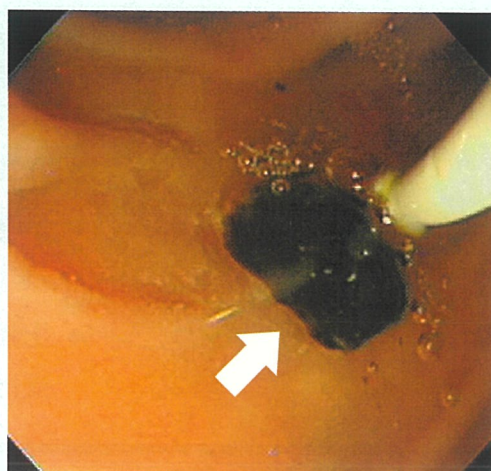
重症の胆管炎は2010年頃には約10%と高い死亡率が報告されていましたが、最近では早期の画像を含めた重症度診断の確立、全身管理や抗生物質などの初期治療と胆管ドレナージを積極的に行うことで救命率は改善しています。

胆管ドレナージというのはどのような治療なのでしょうか？

中等症から重症の胆管炎に対しては、緊急で感染状態の胆管内容を汲み出す処置をします。これをドレナージといいます。



十二指腸乳頭部の拡張処置で、
胆管内から膿汁(→)を確認



総胆管から取り出した結石(→)

内視鏡的に十二指腸乳頭から胆管の中に管を留置するか、あるいは経皮的に胆管の中に管を入れる処置が一般的です。

普段はどのようなことに注意すればよいのでしょうか？

健診を含めて、日頃の血液検査に問題がないか、あるいは腹部超音波検査などで肝臓・膵臓や胆道系(胆管や胆嚢)に異常がないか確認しておくことが大切です。

ありがとうございました。患者さんへの安心安全な医療の提供、よろしくお願いします。